

小学校（3・4年生）
10月
ふれあい

視覚を遮断することによって生じる不安感と支援されることの安心感を味わう。同じように誘導しても、ちょっとしたことで不安になったり、安心できたりすることを表現し合う。

活動の実際

＜AHA体験＞ イメージ	
準備物	A4用紙、ペン、課題
活動内容	支援及び留意点
①全員に一枚ずつ用紙を配る。 ②リーダーが後ろ向きで課題を見て、説明する。 ③他のメンバーは説明に従って、用紙に図形を描いていく。 ④リーダーが課題を発表し、できばえを見せ合う。	○課題を見ないようにする。 ○質問はできない。チャンスは一度だけ。
＜発展＞ ○課題をリーダーが決めて行う。 ○質問ありとする。	
＜ふりかえりの視点＞ ○同じイメージの人がいた時、どう感じた？ ○他の人と比べた時、気がついたことは？	
＜比喻（メタファー）＞ ○聴覚によるお互いのイメージの違いを認め合うこと。	

ペアウォーク

準備物	なし
活動内容	支援及び留意点
①2人組になる。 ②1人が目をつぶり、他の者が目的地まで連れて行く。 ③連れて行く方法は2人で話し合って決める。 ④一定距離で役割を交替し、意見交換する。	○必要なら、目隠しを用意する。 ○状況によっては、連れて行く方法を指示する。 ○活動場所を移動する際、時間を有効に活用することができる。
＜発展＞ ○ →シェルパウオーク	
＜ふりかえりの視点＞ ○途中で危険を感じなかった？ ○自分なりにチャレンジできた？	



秘密の場所

準備物	なし
-----	----

活 動 内 容	支援及び留意点
① 2人組になる。 ② 一人が目をつぶり、もう一人が適当な場所まで連れて行く。 ③ その場所について説明したり、音を出したりする。 ④ その場所がどこかをあてる。 ⑤ 役割を交替して行う。	○ 範囲を決めておく。 ○ 連れて行く方はしっかり声をかけて、安全に配慮する。 ○ 特徴のある場所を選ぶ。
<発展> ○ 特定の自然物を指定する。 ○ 2つ以上指定する。	
<ふりかえりの視点> ○ 場所はどうやって決めた？ ○ 場所を説明するとき、どう思った？	



発 射	
準備物	柔らかいボール (人数分)
活 動 内 容	支援及び留意点
① 2人組になる。 ② 2人組が縦一列になり、前の者は目をつぶる、勝者の後ろにつく。 ③ ボールを1つ決め、それを拾いに行く。 ④ 後ろの者は、前の者のにふれずに方向を教える。 ⑤ この状態で動き回り、お互いに「発射」の声でボール(弾)を発射する。 ⑥ 他のペアにあたったら、前後を入れ替わって続ける。	○ 後ろの者は前の者がぶつからないように責任を持つ。 ○ ボールは柔らかいものを使う。 ○ あまり強く投げないように、ひじから先だけ使う。 ○ 身長差を考えて、ボールは下向きに投げる。
<発展> ○ 風船を使う。 ○ 3人組で行う。	
<ふりかえりの視点> ○ 目標をどうやって決めた？ ○ 2人のコミュニケーションについて気づいたことある。	



さるかに合戦	
準備物	柔らかいボール、フニャ剣、宝物
活 動 内 容	支援及び留意点
① 4人がサルになり、目をつぶって外向きの円形になって座り、4人の中央に宝物をおく。 ② 他の者は3人4脚でカニになり、中央の宝物を奪い取る。 ③ サルのボールや剣にあたったカニはアウト。	○ ストーリーのおもしろさを生かす。 ○ 必要なら、目隠しを用意する。 ○ ボールや剣は柔らかいものを使う。 ○ あまり強く投げないように、ひじから先だけ使う。
<ふりかえりの視点> ○ どんな声が聞こえた？ ○ 気をつけたことはなに？	